第37回望星旗少年武道大会（柔道の部）実施要項

１．目　　的　　望星という名称は、東海大学建学の精神を示す言葉である「若き日に汝の希望を星につなげ」

　　　　　　　　に由来する。希望を胸に常に前進する姿は未来を背負う少年達の姿である。本大会は、柔道、剣

　　　　　　　　道の武道を通して心身ともに健康で希望溢れる少年を育成することを目的とする。

２．主 催　　学校法人東海大学

３．主　　管　　東海大学スポーツ教育センタースポーツ課（実行委員会事務局）

　　　　　　　　東海大学体育学部武道学科（柔道コース）（大会運営担当）

学校法人東海大学望星学塾（運営事務局）

４．日　　時　　2019年10月27日（日）　開場：午前7時30分　開会式：午前9時00分

５．会　　場　　東海大学湘南キャンパス武道館　神奈川県平塚市北金目4-1-1

６．参加資格　　（１）種目

　　　　　　　　　　　①高学年の部（監督１名、選手５名）　　②低学年の部（監督１名、選手３名）

　　　　　　　　（２）参加する選手は、2019年4月現在において小学校１年生以上の児童である（幼児不可）。

　　　　　　　　（３）チームは責任者のいる団体であること。

　　　　　　　　（４）出場チームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録していること。

（５）出場チームの監督又はコーチのうちいずれかは、全日本柔道連盟公認指導者資格（C指導員）

以上を保有し、有資格者が大会当日にチームを帯同していること。

　　　　　　　　（６）本大会の運営事務局より案内要項が届いた団体に限る。出場チームは１団体につき、高学年

の部・低学年の部、各１チームとする。

７．チーム編成　（１）チームの編成は分団、または道場単位とする。

　　　①高学年の部は、５人制で体重区分を設ける。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 学年 | 体重 |
| 先鋒 | ４年生 | 無差別 |
| 次鋒 | ５年生 | 45㎏以下 |
| 中堅 | ５年生 | 無差別 |
| 副将 | ６年生 | 50㎏以下 |
| 大将 | ６年生 | 無差別 |

　　　②低学年の部は、３人制で体重の軽い順に配列する。

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 学年 |
| 先鋒 | ２年生 |
| 中堅 | ３年生 |
| 大将 | ３年生 |

　　　　※先鋒のみ１年生の出場を認める。

（２）下学年の選手は、上学年の選手の位置（体重区分による）に出場できる。ただし、選手は

学年順に配列する。

　　　　　　　　（３）計量は、高学年の次鋒・副将を実施する。計量時間：午前7時30分～8時30分

８．参加申込　　（１）出場チームは、高学年または低学年の出場選手申請書を作成し、運営事務局宛へE-mail

［[bosei@tokai.ac.jp](mailto:bosei@tokai.ac.jp)］又は郵送にて申込込む。出場選手申請書は同封する用紙またはホーム

ページ『東海スポーツインフォメーション』

[http://www.u-tokai.ac.jp/campus\_life/tokai\_sports/]よりダウンロードする。

（２）大会参加申込先［**参加申込は学校法人東海大学望星学塾となります**］

　　 〒180-0013　東京都武蔵野市西久保1-17-1　学校法人東海大学望星学塾

　　 望星旗武道大会（柔道の部）参加申込宛［担当：原口、井澤］

　　 TEL 0422-51-0161　FAX 0422-53-1025　 E-mail：bosei@tokai.ac.jp

（３）申込期日　2019年8月30日（金）必着まで

９．参 加 費　　　　 高学年の部・・・・5,000円、 低学年の部・・・・3,000円

　　　　　　　　　 2019年9月6日（金）までに下記へ振り込みください。

　　　　　　　　 　≪振込み先≫　横浜銀行　東海大学駅前支店（普通）133707

　　　　　　　　　　　　　　 　　 学校法人東海大学　理事長　松前　義昭（まつまえ　よしあき）

※振込の際、名前の頭に「**04**」と付ける。松前柔道塾の例「**04マツマエジュウドウジュク**」

１０．選手変更　　　　 登録選手の変更は、傷病者の場合に限り認める。ただし、受付時までとし以後の変更は認め

ない。

１１．試合方法 （１）試合は、３チーム又は４チームによるリーグ戦と、予選リーグの各順位（１位、２位、３・

４位）による１部・２部・３部のトーナメント戦で行う。

（２）各チーム高学年は５名、低学年は３名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認め

ない。

（３）勝敗決定の方法は、次のとおりとする。

　　　①勝ち数の多いチームを勝ちとする。

　　　②勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技有り」「優勢勝ち」の勝ち数）による。

　　　③内容も同じときは、リーグ戦においては引分けとし、トーナメント戦においては代表戦

を１回行い、必ず優劣を決する。代表選手出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で

１組を選んで通常の２分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が１以内の場

合は旗判定で勝敗を決する。ゴールデンスコアは行わない。

（４）リーグ戦における順位決定は、次のとおりとする。

　　　ア．２勝、１勝１引分け、１勝１負、２引分け、１引分け１負、２負の順位とする。

　　　イ．アで同等の場合は、リーグ戦を通じて（ウ以下同様）勝者総数の多いチームを上位と

する。

　　　ウ．イで同等の場合は、「技有り優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。

　　　エ．ウで同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。

　　　オ．エで同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

　　　カ．オで同等の場合は、「技有り」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

　　　キ．カで同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

１２．審判規定　　（１）2018年～2020年国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定で行い、

望星旗大会申し合わせ事項を併用する。

　　　　　　　　　（２）試合時間は各部門２分間。ただし、高学年１部トーナメント決勝戦のみ３分間とする。

　　　　　　　　　（３）勝敗の判定基準について

勝敗の決定基準は「一本（合技）」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間

に技による評価（技あり）がない、または同等の場合、「指導」差が２以上あった場合に少

ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が１以内の場

合は「引き分け」とする。

＜望星旗大会申し合わせ事項＞

ａ） 寝技の攻防において、あまりに無理な体勢（肩等）の場合は審判の判断により

「待て」を宣告する。

ｂ）場外の判断に関しては、正規の試合場ではないため片方の選手が出た場合は「待て」

を宣告する。寝技においては安全面を考慮し、主審の判断に委ねる。

ｃ）通称逆背負投げや両袖を持った技に関しては国内における少年大会特別規定を参照

する。

　　　　　　　　　　　　 ｄ）柔道衣の乱れに対する新たな罰則は審判より口頭注意のみとし、指導は取らない。

１３．表　　彰　　　（１）高学年の部・低学年の部、1部トーナメントは優勝、準優勝、3位（2チーム）、敢闘賞

（4チーム）、優秀選手5名を表彰する。

（２）高学年・低学年の部、２部・３部トーナメントは、優勝、準優勝のみ表彰する。

１４．監督会議　　　 大会当日の会場内において、8時30分より行う。

１５．安全対策　　　（１）安全管理には､医師、看護師を配置し万全を期す。

（２）参加者する選手には、主催者側で保険に加入する。

（３）大会中の不慮の負傷・疾病については、応急処置を施すとともに費用は保険範囲で支

払う。

１６．組 合 せ　　　　主催者が行う。

１７．大会事務局　　　東海大学スポーツ教育センタースポーツ課［実行委員会事務局］

　　　　　　　　　 　〒259-1292　神奈川県平塚市北金目4-1-1

　　　　　　　　　 　TEL 0463-58-1211（代表）　FAX0463-50-2392

　　　　　　　　　 　※参加費および大会要項についてのお問い合わせは､全て上記の事務局へお願いします。

　　　　　　　　　　　　但し、参加申込みや選手変更に関しては、望星学塾へお問い合わせください。

１８．そ の 他　　 　自家用車での来場を希望する団体には、大会事務局より別途案内を送付する。